

高等学校 令和 7 年度 （ 2 学年用）

教 科 ： 国語 科 目 ： 文学国語

単 位 数 ： 2 単位

対 象 学 年 組 ： 第 2 学年

教 科 担 当 者 ： （ 1、2 組：齋藤・吉永・山倉 ）（ 3 組、4 組：齋藤・本間・吉永 ）（ 5 組： 齋藤・山倉 ）（ 6、7 組： 齋藤・本間・山倉 ）

使 用 教 科 書 ： 標準文学国語（第一学習社）

教 科 の 目 標 ： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
1 学 期	1 単元名 現代の小説（一）						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品に現れている物の見方や、感じ方、考え方を捉えようとするとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。	【指導項目・内容】 「調律師のみ子さん」 いしいしんじ One-Week トライアル	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品に現れている物の見方や、感じ方、考え方を捉えようとするとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】 「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取る事ができる。		【学びに向かう力、人間性等】 「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取るようとしている。				
1 学 期	2 単元名 現代の小説（二）						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文学的な文章を書くために選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にできる。	【指導項目・内容】 「ナイン」 井上ひさし 「相棒」 内海隆一郎	【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、文学的な文章を書くために選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしようとしている。	○	○	○	14
	【学びに向かう力、人間性等】 場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。				
2 学 期	1 単元名 戦争と文学（一）						
	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	【指導項目・内容】 「バグダッドの靴磨き」 米原万里 「私が一番きれいだったとき」 茨城のり子 「死んだ男の残したものは」 谷川俊太郎	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解できる。	「春－イラクの少女シャミラに」 柴田三吉	【学びに向かう力、人間性等】 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。				
2 学 期	2 単元名 随想						
	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにできる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品に現れている物の見方や、感じ方、考え方を捉えようとするとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。	【指導項目・内容】 「花のいざない」 観世寿夫 「真珠の耳飾りの少女」 原田マハ	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品に現れている物の見方や、感じ方、考え方を捉えようとするとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。	○	○	○	15
	【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取るようとしている。				

年間授業計画 新様式

高等学校 令和 7 年度 （ 2 学年用）

教科 科：国語 科目： 文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：（1、2組：齋藤・吉永・山倉）（3組、4組：齋藤・本間・吉永）（5組：齋藤・山倉）（6、7組：齋藤・本間・山倉）

使用教科書：標準文学国語（第一学習社）

教科の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
3 学 期	1 単元名 近代の小説（一）						
	【知識及び技能】 本文中に登場する情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解できる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 本文中に登場する情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解しようとしている。	○	○	○	10
	【思考力、判断力、表現力等】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、思いも寄らない出来事が起きたときに、人の心がどのように変化するかを物語の展開に合わせて理解することができる。	【指導項目・内容】 「鼻」芥川龍之介 「こころ」夏目漱石	【思考力、判断力、表現力等】 表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、思いも寄らない出来事が起きたときに、人の心がどのように変化するかを物語の展開に合わせて理解しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。				
3 学 期	2 単元名 現代の詩						
	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用できる。	【使用教材】 個人端末、教科書、プリント	【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用しようとしている。	○	○	○	4
	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	【指導項目・内容】 「生命は」吉野弘 「そこにひとつの席が」黒田三郎 「食事」高階杞一	【思考力、判断力、表現力等】 読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解できる。		【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。				